

Just Fit Times

ジャストフィットタイムズ

ゼロから解説！ NISA って何だろう？

最近、「NISA（ニーサ）」に関する話題をテレビやSNS、雑誌などでよく見かけます。今回は、「NISAに興味はあるけど、よくわからない……」という方に向けて、NISA 制度の概要をお伝えします。この機会に、あらためてこの制度について知り、みなさまの資産形成について考えるきっかけにいただければと思います。（※1）

NISA は投資で使える制度

そもそも、NISA とは何でしょうか。一言で言うなら、「投資で使えるおトクな制度」です。NISA 制度を箱に例えると、この箱の中で投資を行うことによって、通常かかる税金を非課税とすることができます。

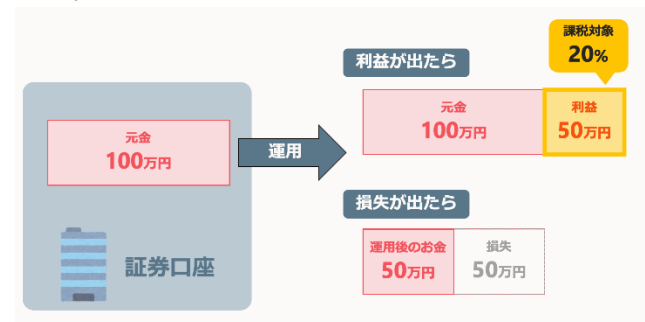
NISA 制度について理解するため、投資の概要と、利益に対する課税の仕組みから見ていきましょう。

そもそも投資とは

まずは、「投資」について考えてみましょう。投資とは、利益を見込んでお金を出すことです。100 万円を株などに投資するとしましょう。投資ですから、増える場合も、減る場合もあります。

例えば、100 万円が 50 万円に減ってしまったとしたら、投資によって 50 万円損をした、という結果となります。

では、100 万円が 150 万円に増えたとしたら、どうでしょうか。投資によって、50 万円トクをした、と言いたいところですが、通常、この増えた 50 万円はまるごと受け取れません。約 20% が税金として引かれるからです。つまり、50 万円のうち、約 10 万円が税金として引かれ、実際に受け取る利益は 40 万円ほどになってしまいます。



NISA のメリット

投資の際に活用できる制度が、NISA です。NISA という箱の中で株などに投資をした場合は、この約 20% の税金が引かれず、利益を非課税とすることができます。

先ほどの例で言えば、100 万円を投資して、それが 150 万円になったとしたら、その増えた



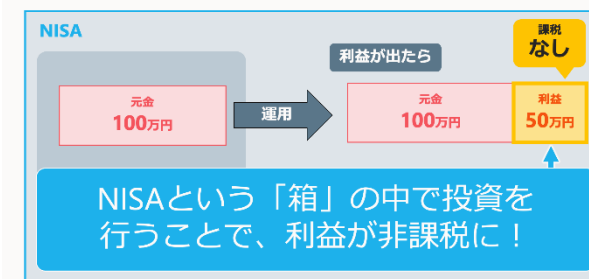
ジャストフィットタイムズ とは

津貝屋グループの従業員が使える新たな福利厚生制度「相談サービス -Just Fit Consulting-」の運営会社（フューチャー・ラボ）が不定期に発行するニュースレターです。福利厚生の一環として、法改正や時事ニュース、おトクな税制優遇制度のご紹介など、みなさまの暮らしに「Just Fit」で役立つ情報を提供いたします。こんな情報が知りたい、などのご要望があれば、お気軽にご連絡ください。

福利厚生制度に関する詳細は、下記 QR コードからご覧ください。



分の 50 万円を、まるごと利益として受け取ることができるということなのです。



NISA の制限

ただし、この「箱」にはいくつか制限があります。例えば、生涯投資枠と年間投資枠です。

コップで箱に水を入れるイメージをしてください。まず、箱の大きさが、生涯で投資できる総額です。最大で 1,800 万円を投資する（水を貯める）ことができます。

コップは、1 年で投資できる上限です。このコップは 2 種類あり、「つみたて投資枠」という種類のコップを使う場合、年間で 120 万円まで投資ができます。（※2）



まとめ

今回は NISA 制度の概要をお伝えしました。いくつか制限事項はありますが、多くの方にとって NISA 制度は魅力的です。

NISA を始める場合は、銀行や証券会社などで口座を開設する必要があります。ただし、この NISA 制度を使える口座は、一人につき 1 口座しか開設できません。そのため、どの金融機関で NISA 口座を開設するかは、慎重に選びたいところです。

また、NISA 以外にも、資産形成を行える手段はたくさんあります。貯める目的が教育資金なのか、住宅購入資金なのか、老後資金なのか、貯蓄の目的に応じて、最適な手段は変わります。

福利厚生制度「相談サービス」では、NISA 制度のより詳しい紹介や、貯蓄方法のご相談、キャッシュフローの見直しなどを相談することが可能です。

専任コンサルタントが状況に応じてご案内いたしますので、より詳しい情報提供や、その他の制度の紹介を希望されるようでしたら、お気軽にご相談ください。

※1 この記事は、NISA 制度の概要を解説することを目的として記載しているものであり、投資の実行を推奨するものではありません。投資を行う際は、制度の概要や投資対象商品についてご理解の上、ご自身の判断と責任において行いますようお願いいたします。

※2 「成長投資枠」の場合、年 240 万円まで。つみたて投資枠と成長投資枠では、投資対象商品が異なります。